

／まったなし！／



住まいの耐震化



それなら
耐震改修
しましょう！



おはあちゃん
うちは大丈夫？
心配やなあ？

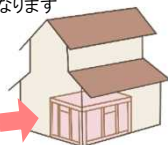
南海トラフの地震は
30年以内に70~80%
の確率で発生！



本格的な耐震改修
100万円 + 10万円
(補助率4/5) + 上乗せ
火災予防

耐震シェルター
80万円 + 上乗せ
(補助率4/5)

上乗せ額は市町村によって異なります



おうちの状態に
合わせて
各種補助制度を
ご用意して
おります

改修費用って
けっこうする
んじゃない？

住まいのスマート化
30万円 + 上乗せ
(補助率2/3)

そんな方には
最先端の
リフォームも
補助！

ICTや
AIを
活用！



でも
直したい所は
他にもあるし！



僕も安心



もちろん
水回りや内外装の
リフォームも！

▶ もっと詳しく知りたい方は次のページへ！

1 耐震診断

大規模な地震に対して、どの程度の安全性があるかを判定

要件

- 木造 (在来軸組構法、伝統構法、枠組壁工法等)
- 平成12年5月31日以前に着工
- 3階建て以下
- 住宅 (併用住宅、共同住宅、長屋、借家、空き家を含む)

耐震診断員(建築士)が、ご自宅を訪問し、現地調査(2時間程度)を行います。後日、耐震診断員が再度訪問し、診断結果を説明します。

費用 4万円のところ 自己負担 **3,000円** **北島町は無料です!** ※一部市町村は無料

2 補強計画

改修工事の参考となる補強計画を提示

要件

- 耐震診断で、評点1.0未満と判定

※耐震診断を受けられた時期が平成25年度以前の場合は、再度、耐震診断から行う必要があります。
※耐震シェルター設置や住替え(除却)を予定している方はお申込みできません。

費用 6万円のところ 自己負担 **6,000円** ※一部市町村は無料

北島町は無料です!

診断結果を元に、改修工事の参考となる補強計画と概算費用を提示します。



評点ってなに?
木造住宅の耐震性能を表す指標で、上部構造評点といいます。大地震の揺れに対して倒壊するかどうかは次のように判定します。

上部構造評点	判定
1.5以上	倒壊しない
1.0以上1.5未満	一応倒壊しない
0.7以上1.0未満	倒壊する可能性がある
0.7未満	倒壊する可能性が高い

では、どんな改修工事にしたいですか?

地震後も簡単な修理だけで住み続けたい
 住宅が倒壊しても命だけは守りたい
 引っ越さずに出来るような工事にしたい
 ついでにリフォームもしたい

3 改修工事

住み続けたいので本格的に補強(1.0以上)

耐震改修支援事業

100万円 (補助率4/5) + **10万円** (感震ブレイカー※) + **上乗せ※ 万円**

要件

- 耐震診断で、評点1.0未満と判定 (必須事項)
- 改修後の評点を1.0以上とする工事
- 高さ1.5m以上の家具の固定
- 県登録の施工者等が施工
- のぼり旗設置や見学会等への協力
- 分電盤タイプの感震ブレイカーの設置 (※日本配線システム工業会の規格適合品に限ります。※コンセントタイプや簡易タイプは認められません。)

(対象にできる工事)

- 部分的な欠陥を改修する工事
- 危険なコンクリートブロック塀の撤去等

耐震とあわせて最先端のリフォームもしたい

耐震改修 + スマート化 = **140万円** + 上乗せ

シェルター + スマート化 = **110万円** + 上乗せ

※住まいのスマート化支援事業は、耐震改修支援事業か耐震シェルター設置支援事業のいずれかと併せて行うことで支援対象になります。

住まいのスマート化支援事業

30万円 (補助率2/3) + **上乗せ※ 万円**

要件

- 耐震改修支援事業又は耐震シェルター設置支援事業と併せておこなう (必須工事)
- ICTやAIを活用した設備を設置するスマート化工事

<例>

- ・見守り機能付きトイレの設置
- ・見守りセンサーの設置
- ・スマートロックの設置
- ・遠隔確認機能付き宅配ボックスの設置
- ・地震計の設置

(対象にできる工事)

- 省エネルギー化工事
- バリアフリー化工事 等

住宅が倒壊しても命は守りたい

耐震シェルター設置支援事業

80万円 + **上乗せ※ 万円**

耐震ベッドの場合は40万円 (補助率4/5) ※市町村によって異なります。

要件

- 耐震診断で、評点1.0未満と判定
- 現在居住している住宅 (必須事項)
- 耐震シェルター又は耐震ベッドの設置
- 高さ1.5m以上の家具の固定
- 県登録の施工者等が施工
- 啓発モニターとして協力(シェルターの場合)

※徳島県で認定している耐震シェルターに限ります。R2.3月現在は2社(株式会社防災ネット、フレッセ)

改修事例

和室に6畳用耐震シェルターを設置。内部を洋風に仕上げた寝室に。

新設したコンクリート土間の上に、土台、柱、梁、壁、天井の順に組立て。最後の内装仕上げは施主のお好みで。

木造2階建 築51年 面積207m2(62坪)
総工事費 150万円→自己負担70万円、補助金80万円
工事期間 約3週間

※一例です。補助金額は市町村によって異なります。

住替えや建替えに伴い古い住宅を壊したい

住替え支援事業

30万円 + **上乗せ※ 万円**

(補助率2/5) ※市町村によって異なります。

要件

- 耐震診断で、評点0.7未満と判定
- 昭和56年5月31日以前に着工
- 現在居住している住宅 (必須事項)
- 住宅のすべてを除却
- 解体業者が施工

(対象にできる工事)

- 危険なコンクリートブロック塀の撤去等

耐震シェルター実物展示

- 場 徳島県庁すだちくんテラス (徳島市万代町1-1) ☎ 088-621-2598
- 場 山田工務店リノベーションモデルハウス (徳島市文六町長尾65-1) ☎ 088-669-1226
- 場 ウッディーワン長生事務所 (阿南市長生町西方464-4) ☎ 0120-061-771

耐震のぼり旗

のぼり旗配布中! 工事中に掛けてね

改修事例

耐震壁を増設することで使い勝手が悪くならないよう部屋割りを工夫。

木造2階建 築41年 面積95㎡(28坪)
総工事費 270万円(うち耐震改修工事145万)
→自己負担160万円、補助金110万円
工事期間 40日
耐震効果 改修前0.18 改修後1.15(0.97アップ)

※一例です。補助金額は市町村によって異なります。